



熊本県立菊池少年自然の家

利用の手引き





菊池の大自然のなかで陽気に、力強く雄飛する少年、少女が規律を守り、集団生活の中で和を生み出し、互いに助け合っている姿を現している。

も く じ

- ☆ もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- ☆ 菊池少年自然の家とは・・・・・・・・P 2
- ☆ 所内マップ・本館案内・・・・・・・・P 3
- ☆ 屋内施設平面図・・・・・・・・P 4
- ☆ 利用のご案内・・・・・・・・P 5～6
- ☆ 利用上のお願い・・・・・・・・P 7～10
- ☆ 必要経費・・・・・・・・P 11
- ☆ 施設利用料金の減免の基準・・・・・・・・P 12
- ☆ 食堂の利用について・・・・・・・・P 13
- ☆ 健康・安全の確保・・・・・・・・P 14
- ☆ 本館非常口・消火器設置場所・・・・・・・・P 15
- ☆ 野外活動の留意事項・・・・・・・・P 16～18
- ☆ 主な研修活動の紹介・・・・・・・・P 19～20
- ☆ 入所式・退所式・つどいについて・・・P 21～22
- ☆ 寝具の使い方・整理について・・・・・・・・P 23～25
- ☆ キャンプ場の利用について・・・・・・・・P 26～28
- ☆ アクセス・・・・・・・・P 29
- ☆ 別紙（1）～（3）・・・・・・・・P 30～32

菊池少年自然の家とは

菊池少年自然の家は、清流あられる菊池渓谷を望んだ杜の中に位置しており、恵まれた大自然の中で、多くの自然体験活動や宿泊体験をとおして様々な学びを提供しています。

サブネーム「学(まな)びの杜(もり) 清流(きよら)」には、清らかな川の流れと緑豊かな杜で、たくさんのかことを学んでほしいとの想いが込められています。

青少年の「生きる力」を育むとともに、幼児から高齢者までが安心して活動できる環境づくりと生涯学習の振興を目的とした、山型(山間活動)の施設です。生涯学習社会における青少年教育施設として、学校やPTAでの利用はもちろん、サークルや職場、地域の子ども会、家族など、いろいろな仲間での利用ができます。



“きよらちゃん”

菊池の清流に住む妖精。



清流をイメージさせる青い髪と葉っぱをモチーフにしたスカート。自然の家で体験できる、ニジマスつかみのニジマスイメージした魚の形の髪留め。頬のそばかすはニジマスの模様を表しており、自然の家を訪れる人々を見守っています。

活動目的

菊池少年自然の家は、自然体験や宿泊体験、交流体験などの場や機会を提供し、青少年の「生きる力」を育みます。

活動目標

菊池少年自然の家では、「生きる力」を育むために、次のような「体験力」を培います。

○自分と出会う力

様々な体験活動の中で…

「自分の意志を決定する力」、「自分の意志を表現する力」、「自分と向き合う力」

○人と出会う力

様々な体験活動を通して…

「友達と協力する力」、「友達と協調する力」、「友達を尊重し援助する力」

○自然と出会う力

「自然の厳しさに対しチャレンジする力」、「自然の美しさや壮大さに対し畏敬の念を抱く力」、
「自然の素材を利用して、創造する力」



所内マップ

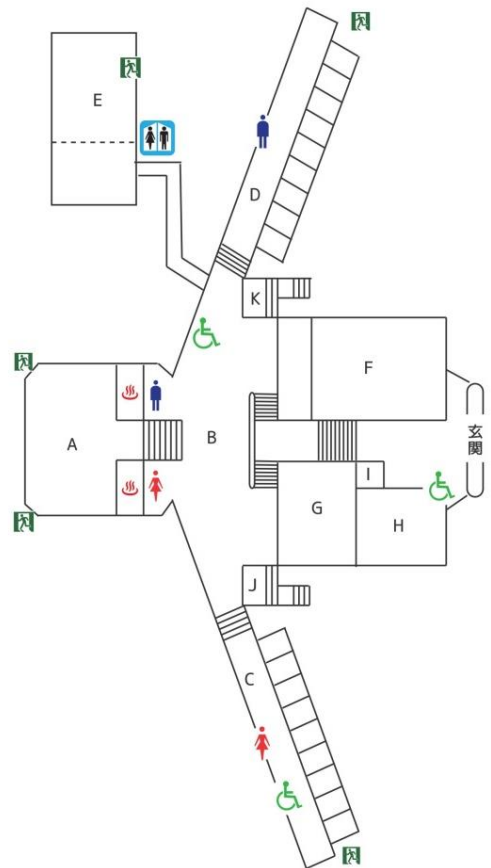


敷地内全体図

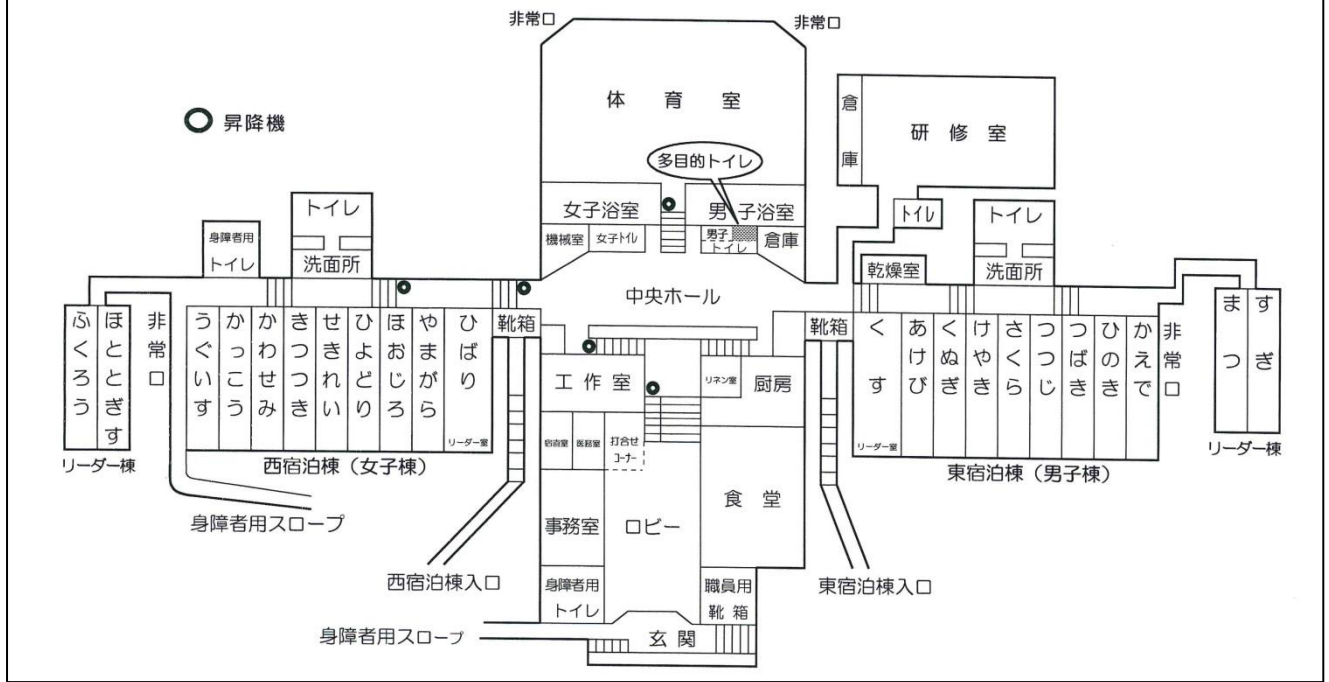


< 施設概要 >

- ☆ 敷地面積 81,305 m²
- ☆ 建物面積 2,882.8m²
- A 体育室 最大200人収容
- B 中央ホール
- C 西宿泊棟
- D 東宿泊棟
- E 研修室 最大120人収容
- F 食堂 120人収容 ※2交代で最大240人まで収容
- G 工作室 最大60人収容
- H 事務室
- I 打ち合せコーナー
- ♻️ 浴室 男女各20人収容 (シャワー各8基)
- ☆ キャンプ場 最大100人収容
 - Aサイト：21サイト
 - Bサイト：10サイト
 - 炊事場2ヶ所
 - シャワー室 (温水) ※男女各4基



屋内施設平面図



宿泊室

12人収容



体育室

バドミントンコート2面分



研修室

長机30台、パイプ椅子約130個あり



食堂

セルフサービス



浴室・脱衣所

シャワー：男女各8基、浴槽：男女各2カ所



打合せコーナー

入所手続きや代表者会議はコチラ



多目的トイレ

どなたでも利用できます



車椅子昇降機

ご利用の際は事務室へお申し出ください

利用のご案内

団体利用は5名以上、家族利用は3名（親子の場合2名）以上から利用できます。

このような団体にご利用いただいています。

- | | | | |
|---------|----------|--------|----------|
| ■集団宿泊教室 | ■幼稚園・保育園 | ■合宿・研修 | ■PTA 行事 |
| ■企業研修 | ■スポーツクラブ | ■福祉施設 | ■講演会・発表会 |
| ■子ども会 | ■家族 | ■グループ | etc... |

利用までの流れ

①施設の空き状況の確認

- 一般団体の仮申込みは、利用日の1ヶ月前までをお願いします。
- ご希望の日時の空き状況をお電話、事務室でご確認ください。

②仮申込みの受け付け

- お電話で利用団体名・活動内容・人数・代表者連絡先等をお聞きします。

③事前打ち合わせ

- 仮申込み完了後、利用責任者の方を中心に来所され、利用の目的やプログラムの確認を行います。その際、利用に必要な書類、利用申請書類をお渡しいたします。（HPよりダウンロードも可能）
- 小グループ、遠方からのご利用の場合は電話やFAXでの打ち合わせが可能です。

④正式申込み

- 必要書類を記入の上、ご利用2週間前までに郵送にて提出をお願いします。
必要書類：利用許可申請書、計画書、確認表、引率者名簿、利用者名簿、食物アレルギー確認票、返信用封筒に82円切手を貼ったもの
利用変更許可申請書※団体名・代表者名を記入し、押印したもの
（必要に応じて施設等利用料免除申請書、注文票、炊具借用書）

⑤許可

- 利用許可申請書を受け、本所から利用許可書等を送付します。

⑥ご利用日当日

- ご利用日当日は利用許可書を持参の上、ご提示ください。
- 利用人数や利用期間に変更がある場合は、事前にご連絡ください。
ご利用日当日、事前に提出いただいている利用変更許可申請書に、変更内容を記入していただきます。

入所から退所まで

①出発前の連絡

- 到着が予定より遅れる場合は、必ずご連絡ください。
- 人数に変更があれば、直ちにご連絡ください。
(食事数変更は、入所前日17:00までにご連絡ください。)

②到着・入所時の打ち合わせ

- 各宿泊棟出入り口から入所し、荷物は各部屋へ入れてください。
- 代表者は事務室受付窓口においでください。入所式前に打ち合わせを行います。
- プログラムの調整及び宿舎の確認を行い、施設での生活について簡単に説明します。
- 研修者は入所式に備えてください。
- 必要に応じて鍵、名札、駐車許可証を受け取ってください。

③入所式とオリエンテーション

- 入所式は団体の進行で行ってください。(進行例P21)
- オリエンテーションでは施設の目的や概要、利用方法や生活の仕方について説明します。
(15~20分)

④研修活動

- 宿舎に移動し、研修ができる服装に着替えてください。
- 研修内容、部屋の変更、連絡等は随時行ってください。

⑤退所時の部屋点検

- 部屋の荷物はすべて中央ホールに出し、忘れ物確認、宿舎の整理整頓等、各団体で点検を行ってください。その後、スタッフによる部屋点検を行います。
- スタッフによる部屋点検が終了したら、シーツと枕カバーは部屋ごとにリネン室前のオレンジ色の返却袋に返却してください。
- リーダー室のルームキーをスタッフに返却してください。

⑥退所式から退所まで

- 名札、利用団体アンケート用紙を事務室へ返却してください。
- 退所式は団体の進行で行ってください。(進行例P21)

利用上のお願い

1 基本の生活日課

菊池少年自然の家では、基本の生活時間・日課が決められています。基本日課表をもとに、プログラムの作成をお願いいたします。また、朝のつどい及び夕べのつどいには、原則参加していただきます。

< 宿泊棟 基本日課表 > 4月~9月		< 宿泊棟 基本日課表 > 10月~3月	
時間	活動内容	時間	活動内容
6:30	起床・洗面・寝具整理	6:30	起床・洗面・寝具整理
7:00	朝のつどい、各団体の集会	7:00	朝のつどい、各団体の集会
7:30	清掃活動	7:30	清掃活動
7:45	移動	7:45	移動
7:50	朝食 ※ 退所団体は退所準備	7:50	朝食 ※ 退所団体は退所準備
8:50	自由 ※ 退所団体は寝具返却、部屋点検	8:50	自由 ※ 退所団体は寝具返却、部屋点検
9:15	活動準備・説明（活動内容等によっては9:00から）	9:15	活動準備・説明（活動内容等によっては9:00から）
9:30	午前の活動	9:30	午前の活動
11:30	自由	11:30	自由
12:00	昼食	12:00	昼食
13:00	活動準備・説明（活動内容等によっては13:00から）	13:00	活動準備・説明（活動内容等によっては13:00から）
13:30	午後の活動	13:30	午後の活動
16:00	自由	16:00	自由
16:30	代表者会、旗係指導（他の人は自由時間）	16:30	代表者会、旗係指導（他の人は自由時間）
16:50	移動	16:50	移動
17:00	夕べのつどい、各団体の集会	17:00	夕べのつどい、各団体の集会
17:25	移動	17:25	移動
17:30	夕食・入浴	17:30	夕食・自由・活動準備
19:00	活動準備・説明（活動内容等によっては自由時間）	19:00	活動説明・交歓活動（活動内容等によっては自由時間）
19:30	交歓活動等	20:30	入浴
21:00	自由・反省・就寝準備	21:30	反省・就寝準備
22:00	消灯・就寝	22:00	消灯・就寝

2 生活について

宿泊室では・・・

- 自分の荷物は常に整理しておきましょう。また、寝具は決められたとおりに整頓しましょう。
- ベッドのはしごは、静かに上り下りしましょう。
- 部屋では暴れたり、大声で叫んだりしないようにしましょう。
- 消灯後は、静かに休みましょう。起床のチャイムが鳴るまでは、部屋の中で静かに待ちましょう。


食堂では・・・

- 食事の前には必ず手を洗いましょう。
- 食堂ではセルフサービスです。台拭きやヤカンの片付けなど、きれいに後片付けをしましょう。
- 食事のエチケットを心得、友達と仲良く食べましょう。

浴室・トイレでは・・・

- 湯船には、体をよく洗ってから入り、タオルは湯船の中に入れてないようにしましょう。
- 熱いお湯が出るので、ヤケドをしないようにしてください。
- トイレでは、備えつけの紙以外は使わないようにしてください。スリッパもきれいに並べましょう。

3 お願い

- 「貴重品の管理徹底」「整理整頓」をお願いします。
部屋を離れる際は、貴重品は必ず身につけておいてください。
現金・貴重品については、事務室の金庫にて、団体毎お預かりすることもできます。
- 「敷地内禁煙」となっております。受動喫煙の防止を定めた「健康増進法」に従い、施設内建物及び敷地すべてを原則“禁煙”とさせていただきます。ご協力をお願いします。
※場合によっては一部灰皿を設置することも可能です。事前相談時にご相談ください。
- 飲酒について
当施設では、原則「飲酒禁止」としています。
詳しくは別紙1「飲酒について」(P30)をご覧ください。

- 携帯電話の使用について
 - ・他のお客様のご迷惑となりますので、原則、館内での使用は禁止とします。
 - ・充電は必要最低限にしてください。(風呂場での充電は禁止)
 - ・自己責任で保管してください。(充電したまま外出しない等)



- 自動販売機について
 - ・購入した商品は宿泊室への持ち込みは禁止です。
 - ・立ち飲み、歩きながら飲むなどの行為はしないでください。
 - ・缶やペットボトルは、自動販売機横のゴミ箱へ捨ててください。



- 洗濯機について
22時(消灯)まで利用できます。洗剤、ハンガー等をご準備ください。



- 持ち込んだごみについて
 - ・持ち込んだごみは持ち帰りをお願いします。弁当空や野外炊飯で出たごみも含みます。
 - ・食べ残しや野外炊飯で出た生ごみはこちらで処分します。ゴミ袋をご持参ください。

- 冷房・暖房について

○冷房について

1 使用期間	7月1日～9月15日
2 使用時間	18:00～22:00
3 設定・管理	28度・事務室集中管理

○暖房について

1 使用期間	11月1日～3月31日
2 使用時間	6:00～7:50 /18:00～22:00
3 設定・管理	19度・事務室集中管理

※冷暖房使用中と就寝時間以降は、部屋の扉や窓を閉めるよう、お願いいたします。

- 防犯対策について
当施設では、防犯対策としまして、防犯カメラを設置しています。
別紙2「不審者対策について」(P31)をご覧ください。

□ 施設・設備について

- 【多目的トイレ】 誰でも利用できます。ただし、トイレ内のシャワーは使用しないでください。
- 【中央ホール】 床を汚したり、傷つけたりするような行為は禁止です。他の利用者の迷惑にならないように、静かに過ごしてください。
※走り回って、転んだり、周囲の物にぶつかったりしてケガをしている事例もあります。
- 【車椅子昇降機】 本施設には車椅子昇降機があります。使用される場合は、事務室へご連絡ください。
- 【体育室】 子ども達だけの使用はできません。引率の先生・保護者の監督下で使ってください。利用を希望される時は、事務室にお尋ねください。
- 【宿泊室】 宿泊棟での飲食は禁止とします。
宿泊室ベッドの2段目の使用は、特に注意をお願いします。
※飛び降りない、2人で乗らない、天井に頭をぶつけないように！等自分がいる場所から一番近い非常口の場所を常に確認しておきましょう。
緊急時は、基本的に所員の指示に従ってください。避難後の集合場所は、原則的に「つどいの広場」、最終避難場所は大駐車場です。
- 【耐震の梁について】 平成26年度の耐震工事に伴い、宿泊棟・研修室等に耐震の梁が設置されています。登る、ぶら下がる等の行為はしないでください。
また、館内・屋外では梁に注意して活動してください。

□ 寝具類の使用・部屋点検について

- ・一人につき、シーツ2枚、枕カバー1枚をお渡しします。
- ・シーツ、枕カバーは、リネン室前に準備してありますので、取りに行ってください。
- ・使用後は、布団は元の通りにたたんでください。（宿泊室に写真を掲示してあります。）
指導者・保護者で片づけ状況を確認した後に「部屋点検」を事務室に依頼してください。
布団がきちんとたたまれているか、シーツ・枕カバーの枚数、清掃状況をスタッフが確認に伺います。点検後に、シーツ・枕カバーをリネン室前に置いてあるオレンジの袋に入れてください。
- ・23ページ、「寝具の使い方、整理について」をご確認ください。

□ 食事と食堂の利用について

- ・食中毒やノロウイルス感染予防のため、食事前の手洗いうがいの徹底にご協力ください。
- ・食中毒防止のため6月～10月の期間中、持参弁当の持ち込みを原則禁止しています。
食堂での注文弁当をご利用ください。
- ・詳細は13ページ「食堂の利用について」を必ずご確認ください。

□ お風呂について

- ・シャンプー、石鹸、タオル等はございませんのでご準備をお願いします。
- ・たくさんの方が利用しますので、細やかな気配りをお願いします。

【入浴時の注意点】

- ① 浴槽にタオルをつけないようにしてください。
- ② 節水を心掛けた、お湯の無駄遣いをしないようにしてください。
- ③ イス、洗面器の片付けを徹底してください。（ピラミッド型に）
- ④ 浴室から出る際は、きちんと体を拭いてから脱衣所にあがってください。
- ⑤ ドライヤーは男女各風呂1つの使用にとどめてください。プレーカーが落ちる可能性があります。

- 支払いについて
施設利用料の支払いは、基本的に前納となっております。
領収書を分けられる場合は、事前にお知らせください。
- 引率者の外出について
児童、生徒だけを施設に残して外出しないようお願いします。
- 駐車について
駐車は、「自然の家駐車場」をご利用ください。
本館前は、活動場所となっておりますので、ご遠慮ください。
また、バス等の乗降も「自然の家駐車場」でお願いします。

❗ 持参品について ※名前のご記入をお願いします。

- 野外活動にふさわしい服装（長そで・長ズボン・防寒・トレパン・トレシャツなど）
- 着替え □ 帽子 □ タオル □ ハンカチ □ ちりがみ □ 虫よけスプレー
- 室内用上ぐつ（スリッパ可） □ 洗面用具（石けん・シャンプー含）
- ナップザック □ 雨具（雨合羽） □ 筆記用具 □ 水筒 □ 健康保険証（写し）
- 軍手 □ 常備薬（必要な人）
- その他必要なもの
 - ★ 川遊び・さかなつかみ・・・かかとのあるサンダル及び濡れてもいい靴
 - ★ キャンプ場での宿泊・・・懐中電灯、毛布・寝袋など



必要経費

【施設利用料金】			金額 (円)
宿泊を伴う施設等利用	宿泊棟利用 1泊につき	未就学児	無料
		小学生以上高校生以下	260
		一般の方	680
	キャンプ場利用 1泊につき	未就学児	無料
		小学生以上高校生以下	100
		一般の方	310
宿泊を伴わない施設等利用	1日につき	未就学児	無料
		小学生以上高校生以下	50
		一般の方	100

【食事代】			金額 (円)
未就学児 3食 1,410円 小・中学生 3食 1,460円 高校生以上 3食 1,670円	朝食	未就学児・小中学生	360
		高校生以上	380
	昼食	未就学児・小中学生	500
		高校生以上	570
		注文弁当	500
		未就学児用おにぎり弁当	400
	夕食	未就学児	550
		小・中学生	600
		高校生以上	720

【食材注文】	金額 (円)
バーベキュー1セット (牛肉・豚肉各150g、ウインナー2本、キャベツ、ピーマン、なすび、玉ねぎ) ※バーベキューに必要な炭や調味料は持参してください。	1,000
カレー1人分材料 ※分量は目安です。 (牛肉・じゃがいも・玉ねぎ各50g、人参10g、カレールー50g)	360
シチュー1人分材料 ※分量は目安です。 (牛肉・じゃがいも・玉ねぎ各50g、人参10g、シチュールー50g)	360
生米 (100gおよそ0.6合)	80
炊きあがり米 (100gおよそ0.6合)	150
おにぎり1個	90
和食セット5人分材料 味噌汁材料 (木綿豆腐100g、わかめ8g、だし、あわせ味噌85g)、納豆5個	500

【シーツ・布団の洗濯代】	金額 (円)
シーツ2枚・枕カバーのセット	135
キャンプ場用毛布 ※2週間前までの申込みで対応可、申込み以降の変更は不可	378

熊本県立青少年の家条例第9条に基づく施設利用料金の減免の基準

第9条 次に掲げる者が利用するときは、使用料の全部を免除することができる。

- (1) 身体障がい者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障がい者手帳の交付を受けている者(15歳未満の者につき、その保護者が身体障がい者手帳の交付を受けているときは、当該15歳未満の者)
- (2) 厚生労働大臣の定めるところにより療育手帳の交付を受けている者
- (3) 精神保健及び精神障がい者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている者

2 次に掲げる者の介護のために現に同伴する者(その者が2人以上いるときは、1人に限る。)が利用するときは、使用料の全部を免除することができる。

- (1) 前項第1号に掲げる者のうち、次の表の左欄に掲げる障がいの区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる身体障がい者福祉法施行規則(昭和25年厚生省令第15号)別表第5号に定める障がいの級別に該当する障がいを有するもの(以下この号において「重度身障者」という。)又は次の表の左欄に掲げる障がいを2以上有し、その障がいの総合の程度が重度身障者に準ずると知事が認めるもの

障がいの区分		障がいの級別
視覚障がい		1級から3級までの各級及び4級の1
聴覚障がい		2級及び3級
肢体 不自由	上肢不自由	1級、2級の1及び2級の2
	下肢不自由	1級、2級及び3級の1
	体幹不自由	1級から3級までの各級
	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい	上肢機能障がい
移動機能障がい		1級から3級までの各級 (1 下肢のみに運動機能障がいがある場合を除く。)
内部 障がい	心臓機能障がい	1級、3級及び4級
	じん臓機能障がい	1級、3級及び4級
	呼吸器機能障がい	1級、3級及び4級
	ぼうこう又は直腸の機能障がい	1級及び3級
	小腸機能障がい	1級、3級及び4級
	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい	1級から4級までの各級
	肝臓機能障がい	1級から4級までの各級

- (2) 前項第2号に掲げる者のうち、同号の療育手帳の障がいの程度の記載欄に、重度であることの表示として「A」と記載されたもの
 - (3) 前項第3号に掲げる者のうち、同号の精神障がい者保健福祉手帳に精神保健及び精神障がい者福祉に関する法律施行令(昭和25年政令第155号)第6条第3項に規定する障がい等級が1級である者として記載されているもの
- 3 前2項に規定する場合のほか、知事は、特別の事情があると認めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。(指定管理者による管理)

食堂の利用について

1 食事の料金および提供時間帯

	料 金	提供時間帯	100名以上の場合（2交代）
朝食	未就学児・小中学生 360円	7:50～8:20	7:30～8:00 / 8:00～8:30
	高校生以上 380円		
昼食	未就学児・小中学生 500円	12:00～12:30	12:00～12:30 / 12:30～13:00
	高校生以上 570円		
夕食	未就学児 550円	17:30～18:10	17:30～18:10 / 18:10～18:50
	小・中学生 600円		
	高校生以上 720円		

※食堂の定員は120名ですが、入所者数が100名を超える場合は、混雑を避けるため、2回に分けて提供する場合がございます。

2 食物アレルギーへの対応について

食物アレルギーに関しては、「食物アレルギー確認票」に必要事項をご記入の上、14日前までに菊池少年自然の家まで郵送してください。また、特に相談が必要な場合は、「食物アレルギー確認票」を提出後、菊池少年自然の家へ連絡してください。

3 食数の変更・キャンセルについて

【連絡方法】 利用団体から直接、菊池少年自然の家へ連絡してください。

その後、食数変更届をFAXで送付してください。

⇒ 菊池少年自然の家 電話番号（0968-27-0066）

Fax番号（0968-27-0880）

【受付時間】 食数変更及びキャンセルの受付は、原則的に前日の17時00分までとします。

ただし、大幅な食事数の変更については、原則として利用日の5日前までとします。

※上記受付時間以降の変更およびキャンセルについては原則的に全額いただくこととなります。

※野外炊飯用の食材（バーベキュー・カレー等）の食数変更は3日前の17時00分までとします。

4 弁当・お茶について

(1) 昼食を弁当に変更することは可能です。ただし、弁当のご飯の大盛りはできません。

※食中毒防止のため、6月～10月の期間中、弁当の持ち込みは、原則禁止としています。

食堂での注文弁当をご利用ください。

(2) 弁当の受け取りは当日11時以降、食堂にてお願いします。（配達はできません）

(3) 保育園・幼稚園・特別支援学級については、おにぎり弁当（400円）も提供できます。

(4) お茶は、朝食時に食堂入口で提供できます。水筒を持参してください。

5 ゴミの処理について

(1) 利用団体の持ち込みによるゴミは持ち帰りとします。

(2) 食堂が提供する弁当・野外炊飯材料の残飯や弁当容器は、菊池少年自然の家が処理します。

(3) 利用団体が持参する弁当の残飯は、菊池少年自然の家が処理しますので、ゴミ袋を持参してください。弁当容器は持ち帰りとします。

6 食材の持ち込みについて

(1) 食材の館内への持ち込みは禁止とします。

(2) キャンプや野外炊飯の為の食材の持ち込みは食中毒防止のため禁止とします。

バーベキュー材料	1,000円
カレー1人分材料	360円
シチュー1人分材料	360円
生米（100g…およそ0.6合）	80円
炊きあがり米（100g…およそ0.6合）	150円
おにぎり1個	90円
和食セット5人分材料	500円

7 食堂から提供できる食材について

右表の食材が提供可能です。

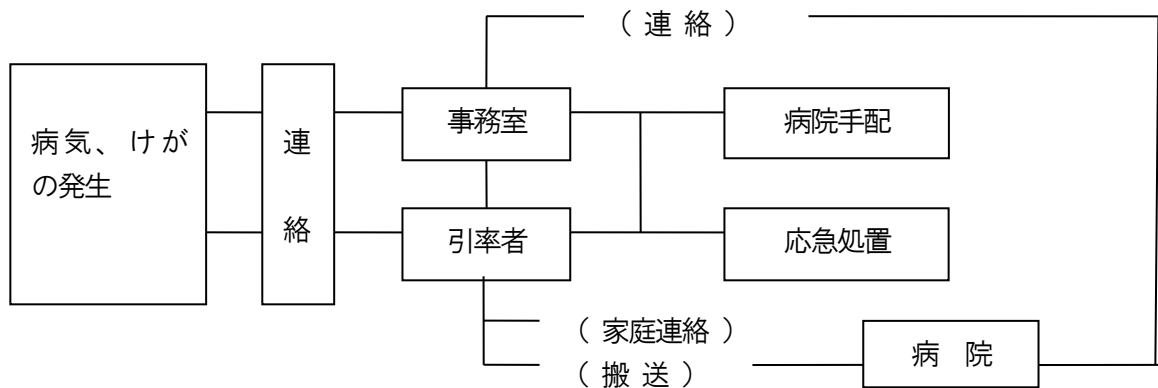
詳しくは、「必要経費」（P11）をご覧ください。

健康・安全の確保

当少年自然の家の利用では、家庭や学校・職場などを離れて宿泊を伴う研修を行いますので、健康管理及び安全のため、以下のことに十分配慮してください。

- ① 不注意による事故が発生しないよう十分気をつけてください。
- ② 宿泊が各棟にまたがる場合は、引率者は各棟に宿泊し、指導ができるようにしておきましょう。
- ③ 体調を崩さないために、消灯及び起床時刻を守り、睡眠時間の確保に努めてください。
- ④ 非常時に備えておきましょう。
 - 避難経路を確認してください。最終避難場所は原則として「大駐車場」とします。
 - 非常時には、引率者は所内放送や職員の指示に従い、自団体の研修生を誘導してください。
 - 避難後、班長は班員を確認し団体責任者に連絡、団体責任者は自団体の人数を確認したうえで、少年自然の家職員に報告してください。
- ⑤ 健康保険証（写し）を持参してください。
- ⑥ 病気及びケガの対応

救急薬品は、各団体で持参してください。持病のある研修者がいる場合は、事前に団体で把握して、必要な準備をしてください。



菊池市内医療機関一覧表

病院名	科名	電話番号	住所	備考
川口病院	緊急指定	0968-25-2230	菊池市隈府 823-1	
菊池中央病院	緊急指定	0968-25-3141	菊池市隈府 494	
城間クリニック	整形外科	0968-25-2506	菊池市隈府 952	
菊池眼科	眼科	0968-25-5678	菊池市片角 258-1	
木庭耳鼻咽喉科医院	耳鼻咽喉科	0968-24-2551	菊池市大琳寺 247-17	
宮本内科クリニック	内科・小児科	0968-25-2047	菊池市隈府 277-2	

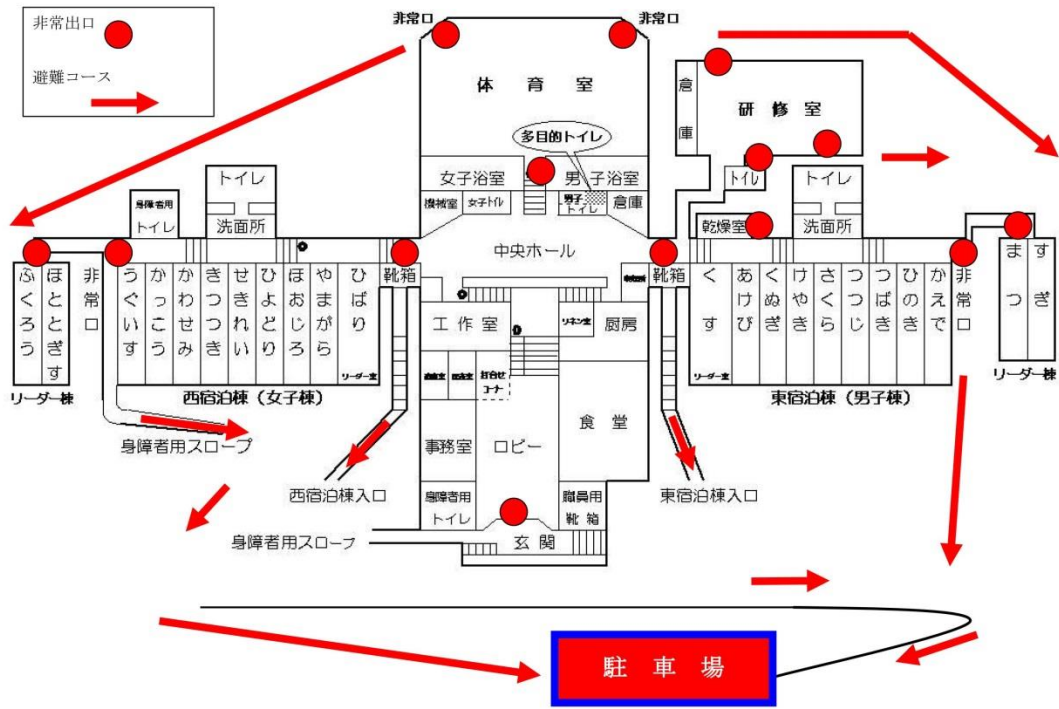
菊池地域関係機関一覧表

病院名	電話番号	住所	備考
菊池警察署	0968-24-0110	菊池市隈府 790	
水源駐在所	0968-27-0041	菊池市重味 2515-7	
菊池広域連合消防本部 北消防署	0968-25-3053	菊池市赤星 2080	
熊本県菊池保健所	0968-25-4156	菊池市隈府 1272-10	

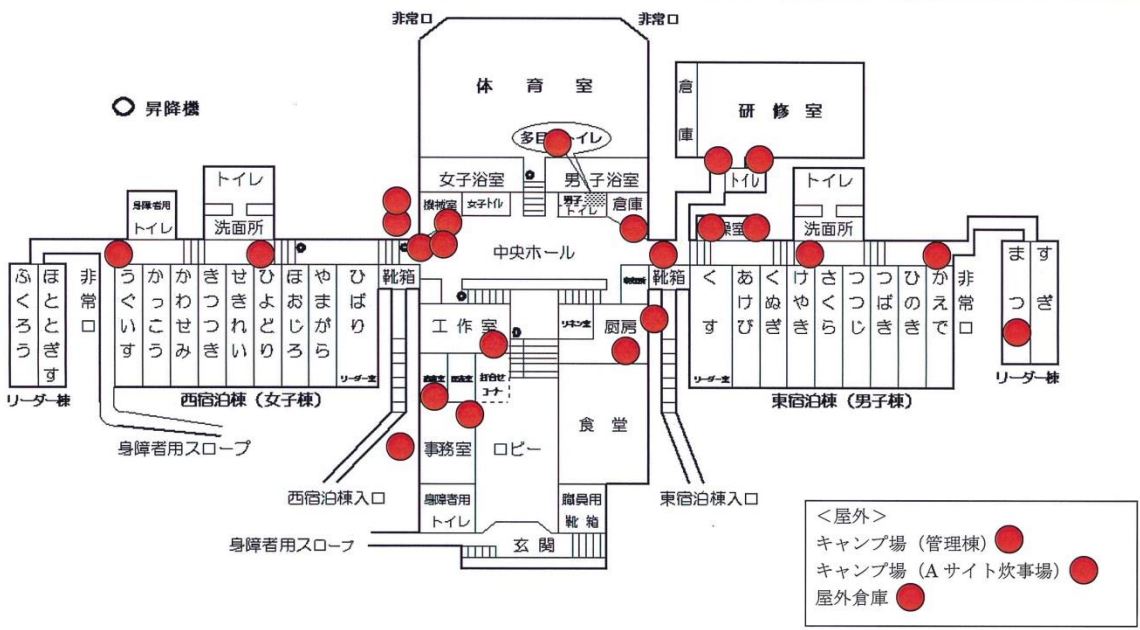
救急車要請：119番

本館非常口・消火器設置場所

非常出口及び避難コース一覧図



消火器・消火栓設置場所



野外活動の留意事項

楽しい野外活動も、安全上の注意を怠ると悲しい事故につながる危険が待ち受けています。事故が起きると、被害者が辛い思いをするばかりでなく、主催者（指導者）側への責任問題へと発展することも考えられます。安全管理に対する正しい理解と具体的な対策をしておくことで、事故を未然に防ぎましょう。

○ 安全管理の基本的な考え方

- ・ 想定できる危険を予知し、そのための対策を徹底的に行いましょう。
- ・ 万が一の時を想定して対策を練っておくとともに、引率者に対する教育を徹底して行いましょう。
- ・ 参加者には自分の身の安全は自分で守ることを徹底させ、「自己責任」の考え方で様々な活動に臨むということを身につけさせましょう。
- ・ 参加者が未成年の場合は、保護者に活動の趣旨、内容などきちんと伝えたくて参加してもらいましょう。

○ 参加者自身に安全対策の意識を

- ・ 野外の活動では、子どもたちの中に危険を予知する能力、危険を避ける技術や行動力・態度などが、実体験をとおして身に付く絶好の機会です。「危険だからやめなさい」ではなく、参加者自身にどこにどんな危険がひそんでいるのか、何が危険なのか、どうすれば防ぐことができるのかなどについて、あらかじめ考える機会をつくったり、主体的に身を守る意識を持たせたりして活動に入りましょう。

○ 様々な危険

- ・ 動植物が原因（毒ヘビ、ハチ、ムカデ、ハゼ、カヤ、マダニ、ツツガムシなど）
- ・ 気象条件（天候の急変、落雷、強風、台風など）
- ・ 地形的条件（転落、落石、急斜面、岩場など）
- ・ 水的条件（水温、水深、水流など）
- ・ 活動技術（道に迷う、転ぶ、落ちる、溺れるなど）
- ・ 用具の操作技術（切り傷、やけど、刺し傷など）
- ・ 疲労や心理的要因（判断ミス、パニック、過度の興奮など）
- ・ 心身の健康状態と衛生管理（発熱、生理痛、便秘、下痢、食中毒など）
- ・ 指導者側の過失（無理な計画、下見の未実施、引率者相互の共通理解不足など）
- ・ その他（移動の際の交通手段など）



○ 事前にしておくこと

- ・ 綿密な計画案及び安全上のチェック
- ・ 下見の実施と自然の家職員との打ち合わせ
 - ◎時期 : 計画作成段階（1ヶ月前）で最低1回は実施し、できれば直前に再度実施することをお勧めします。
 - ◎下見を行う引率者 : 引率者全員が揃って行うことが理想的です。できない場合は、ビデオやカメラなどの画像をとおして後日確認するなどしましょう。
 - ◎下見のポイント : コース及びエリアの確認・コース上想定される危険と対処方法・引率者の配置・車両輸送路の確認・救急医療機関の確認
- ・ 計画の再点検
- ・ 参加者及び参加者の保護者への事前説明会の実施
 - ※保護者説明会がどうしてもできない場合は、文書での説明と参加にあたっての同意を得ておきましょう。

- ・ 傷害保険への加入
- ・ 救急医療品の準備
- ・ 緊急体制の整備とその運用及び救急処置についてのリハーサル
- ・ 引率者全員での安全管理上の最終確認

○ 実施中の安全管理

- ・ 気象条件の把握
(現在の状況の把握、予報、過去 1 週間の天候 (土砂崩れや落石の予知))
- ・ 危険箇所の現状確認
- ・ 移動の際の安全管理
- ・ 参加者の人数及び健康状態の把握
- ・ 特別に配慮を要する参加者の把握
- ・ 引率者の配置と円滑な連絡
- ・ 指導者自身の安全管理と健康管理
- ・ 万が一の時の想定して冷静に判断できる体制

○ 万が一の時の対応

- ・ 冷静に判断する
- ・ 無理をせず自分自身の安全管理を忘れない
- ・ 事故者以外の人たちの安全管理をする
- ・ 周囲の状況や事故者の様子を把握し、直ちに何をすべきか判断し行動に移す
- ・ 団体の責任者及び自然の家への連絡を行い、状況によっては指示を仰ぐ

○ 応急処置

- ・ 傷口の消毒
 - ① 水で洗い流す
 - ② 消毒・殺菌をする
 - ③ 傷口の保護をする
- ・ 出血を止める (止血法)
 - ◎ 傷口をおさえる
(ひどい出血でない限り、清潔な布またはハンカチやタオルで傷口を強く圧迫する。通常、この処置でかなり効果がある)
 - ◎ 傷口を高く上げる
(出血が止まらない場合は、傷口をおさえたまま心臓より高く上げる)
 - ◎ 局所的に血液の流れを止める
(素人が行くと取り返しのつかない時があるので、あくまでも最終的な手段です)
※すり傷などの軽傷で十分な対応が可能な症例以外は、あくまで医師の治療を受けるまでの応急処置と心得ておいてください。どちらか悩む時は、必ず医師の診断を仰ぐべきです。

○ 救急セットの準備

消毒液 傷口ばんそうこう 三角巾 包帯 ガーゼ テーピングテープ
 湿布 生理用ナプキン とげ抜き 脱脂綿 抗ヒスタミン軟膏
 虫よけ など



マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果

参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症
2) マダニ媒介SFTSとは
3) マダニの生息場所

マダニ対策に関するお問い合わせ

国立感染症研究所 伝染病学部
Tel: 03-5285-1111 (代表)
Fax: 03-5285-1178
e-mail: info@nih.go.jp

SFTS対策委員会に関するお問い合わせ
国立感染症研究所
Tel: 03-5285-1111(代表)
厚生労働省 健康局 感染症課
Tel: 03-5283-1111(代表)



1. マダニの生息場所



マダニは、丘陵の夏山や湖沼、畑、お花畑などに生息しています。

マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

シャツの袖口は、手首や手袋の中に入れてみましょう。

シャツの裾はスポンの中に入れてみましょう。

腰巾着や足利などは、スポンの中に入れてみましょう。

ハイキングなどで山林に入る場合は、スポンの裾に割手を付けましょう。

※スポンやサンダル履きは不適当です！

3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、袋の中に持ち込まないようにしましょう。

野外活動後は、シャワーや入浴で、タダニが付いていないかチェックしましょう。

ガムテープを貼って隙間に付いたタダニを取り除く方法も効果的です。

タダニの多くは、長時間（10日間以上）の間、吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口輪が皮膚の中に残り、化膿することもあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

4. 忌避剤の効果

海外ではマダニ対策に忌避剤(虫よけ剤)が使用されていますが、日本には、マダニ用に市販されている忌避剤は今のところありません。

日本では、ツツガムシ(タニ目ツツガムシ科)を忌避する用途で、衣服に染布して使用する忌避剤(医薬品)が電販市販されています。

このような忌避剤を使用し、マダニに対して一定の忌避効果が期待できることが確認されました。

デイト(忌避剤)の使用でマダニ付着数は減少しますが、マダニを完全に防ぐわけではあらず、忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。

参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

これまでに、中国・日本・韓国でSFTSの患者が報告されています。中国ではタダニからマダニとオウシマダニからウイルスがうつっています。

ウイルスの潜伏期間は、(マダニに咬まれてから) 6日~2週間とされています。

2013年のSFTS患者は、5月に多く発症しています。

2013年は、西日本の12県でSFTS患者が報告されています。

SFTS患者報告基本情報

性別	年齢	合計
男	12	33名
女	21	
年齢		
0代	7	
10代	4	
20代	5	
30代	6	
40代	9	
50代	6	
60代	10	
70代	3	
80代	3	
90代	3	

2013年1月1日以降に報告された患者(合計33名)は、40代以上でした。

2013年の患者発生月

2013年1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

2013年の患者発生月

http://www.nih.go.jp/infodiv/sfts/sfts.html#sfts

参考資料 3) マダニの生活環



主な研修活動の紹介

活動内容及び諸経費一覧表

熊本県立菊池少年自然の家

	活動プログラム	活動の概要及び諸条件等	所要時間	料金(一人当たり)	備 考
野外活動	観音岳ハイキング登頂コース	標高657m・約8km	4時間 (昼食時間を除いた時間)		高学年向け
	観音岳ハイキング冒険コース	観音岳短縮コース(観音池)	3時間 (昼食時間を除いた時間)		低学年向け
	権現山 A・Bコース	標高549m Aコース約1.3km Bコース約3.6km	Aコース40分 Bコース1時間30分		低学年向け
	女鞍岳ハイキング登頂コース	標高623m 約6km	3時間 (昼食時間を除いた時間)		高学年向け
	※ ニジマスつかみ	銚の甲川 4～10月のみ実施 10匹以上の注文から	2時間 (川までの往復時間除く)	330円/1匹	自然の家で炭・串・塩を準備
	※ 沢登り	銚の甲川 第2川遊び場～第1川遊び場 約600m	1時間30分～2時間 (川までの往復時間除く)		水着・替え靴必要 / ライフジャケット・ヘルメット自然の家で準備
	※ 河童湖遊泳	銚の甲川 ターザンロープ有 水深4m	1～2時間 (川までの往復時間除く)		水着・替え靴要
	ネイチャーゲーム	自然を感じることができるゲーム	1時間30分		
	コンパスゲーム	方位磁針と歩数でポイントを探すゲーム	2時間		
	フライングディスクゴルフ	9と18ホールの2コース 100名以内	2時間		
	フィールドビンゴゲーム	動物カードを探すゲーム	2時間		低学年向け
	森林ワークゲーム	自然の中で行う宝探しゲーム	2時間		
	Q&Aハンティング	地図と写真を元に隠されたクイズを見つけるゲーム	2時間		初・中・上級有
	自然を感じるビンゴ	ビンゴ用紙を用いた身近な自然に気付くことができるゲーム	1時間30分		
	フィールドアスレチック	2ヶ所のアスレチックゾーン有	1～2時間		自主活動
	草そり	70m滑走コース有	1時間		自主活動
防災活動	野外炊飯	キャンプ場炊事棟 キャンプ場利用者優先	3時間	薪 200円/1束	薪持込可
	ドームテント設営	キャンプ場利用者優先 ドームテント20張(1張4～6名)	1時間		テント持込可
	火おこし体験	古代発火具(マイキリ式)を使って体験	1時間	260円/1回	
交歓活動	ナイトゲーム	堂床Aコース 約1.73km 15班以内 指導者7名要	2時間 (1周40分)		懐中電灯各班2個要
		堂床Bコース 約1.5km 15班以内 指導者5名要	2時間 (1周30分)		懐中電灯各班2個要
		堂床Cコース 約1.75km 15班以内 指導者6名要	2時間 (1周30分)		懐中電灯各班2個要
	ナイトハイク	堂床Aコース 約1.73km	1時間		懐中電灯全員要
		堂床Bコース 約1.5km	1時間		懐中電灯全員要
		堂床Cコース 約1.75km	1時間		懐中電灯全員要
	キャンプファイヤー	大宮火場(200名以下)	2時間	薪組 4000円/1組	薪組み等持込可
		北宮火場(100名以下)			
	ミニファイヤー	キャンプファイヤーの1/4のサイズ	1時間	薪組 1000円/1組	薪組み等持込可
	キャンドルのつどい	体育室(200名) 研修室(80名)	2時間		小口ソック持参可
	チャレンジランキング大会	団体規模により指導者要	2時間		
イニシアティブゲーム	課題解決型活動 引率者支援要	1時間30分			
スターウォッチング	星座盤25枚有	1～2時間		自主活動	
ニュースポーツ 方打(室内用)	囲いの中で行う新感覚ドッチボール (50名程度)	1～2時間		室内使用	
ニュースポーツ ベタク(室内用)	的を阻ってボールを投げる簡単なスポーツ (48名以内8チーム)	2時間		室内使用	
創作活動	プラホビー	プラ板によるキーホルダー作り	1時間	100円	下級持参可
	木工ペンダント	輪切りの木によるオリジナルペンダント作り	1時間	50円	
	木工ストラップ	輪切りの木によるオリジナルストラップ作り	1時間	100円	
	小鳥のマグネット	ナイフを使った、小鳥型のマグネット作り	2時間	100円	高学年向け
	まが玉	屋外での活動 滑石製のまが玉作り	2時間	200円	室内可
	紙ブーメラン	三枚羽根のブーメラン作り	1時間	50円	
	ストーンペインティング	川で拾った石への絵付け	1時間30分 (川までの往復時間除く)		低学年向け 自主活動
	ジャンボシャボン玉	屋外での活動	1時間	50円	
	焼き杉の壁掛け	杉の板を使った壁掛け作り	1時間30分	150円	
	切り絵	80名以内	2時間30分	120円	高学年向け 下級持参可
	竹トンボ	オリジナル竹トンボ作り	1時間	100円	低学年向け
	My竹箸作り	竹を削って作る自分だけのお箸	1時間	50円	高学年向け
	葉っぱのマグネット	葉っぱの形をホットボンドの芯でかたどって作るマグネット	1時間	100円	葉っぱは各団体が準備
	木工カスターネット	輪切りの木によるオリジナルカスターネット作り	2時間	150円	
	※ クリスマスリース	自然物を使ったオリジナルリース作り	2時間	300円	11月～12月
	※ ミニしめ縄	わらを使った本格的なミニしめ縄作り	2時間	150円	12月
	※ ミニ門松	孟宗竹を切るところから始まる本格的ミニ門松作り	3時間	300円	12月
	※ 手のり門松	真竹を使った手のひらサイズのミニミニ門松作り	2時間	100円	12月
	※ 風	竹ひごとビニールを使った風作り	1時間30分	150円	1月～2月

※期間限定の活動です。

プログラムの作成について

1. 研修の目的を考えましょう

自然体験 集団活動 研修 仲間作り 親睦 等

- 学校や家庭で体験できないような活動を積極的に取り入れましょう。
- 年齢や体力にあった活動であるか考慮しましょう。
- 集団生活のマナーにも配慮しましょう。

2. 全体の流れを考えましょう

- ひとりひとりがリーダーとして活動できる場面や、仲間と協力する活動をできるだけ多く取り入れましょう。
- プログラムの単なるつなぎ合わせにならず、一貫した“めあて”を持って体得できるように心がけましょう。
- 研修場所や活動場所は、必ず事前の下見をお願いします。

3. 時間にゆとりを持って計画しましょう

- 菊池少年自然の家の基本日課をベースに、ゆとりあるプログラムにしましょう。
- 雨天時のプログラムも必ず計画しましょう。

※ プログラムの内容は、自然の家のプログラム以外に各団体で考えたオリジナルのプログラムでも構いません。

※ プログラムの作成で分からない時は、お気軽にご相談ください。

入所式

～ ね ら い ～

自然の家の生活や決まりを理解し、活動への意欲を起こす。

☆「入所式」の意義や役割分担等、事前指導を十分に行ってください。

☆「入所式」の進め方は、各団体の目的等に応じて計画してください。

☆実施場所：体育室又は研修室

☆入所式の進行は入所団体でお願いします。

※原則として入所式は、単体で行います。但し、入所時間等が同じ団体があれば、合同で行う場合もあります。

その際は、団体同士で事前に話し合い役割分担を決めておいてください。

＜入所式（例：約15分）＞	
1 はじめのことば	「これから入所式をはじめます。」
2 入所団体の挨拶 (校長・教頭先生等の代表者)	「〇〇先生のごあいさつです。よろしくお願いします。」 (終了後)「ありがとうございました。」
3 菊池少年自然の家挨拶	「菊池少年自然の家の職員のごあいさつです。よろしくお願いします。」 (終了後)「ありがとうございました。」
4 児童・生徒代表挨拶	「〇〇学校〇〇さんの代表のあいさつです。よろしくお願いします。」 (終了後)「ありがとうございました。」
5 おわりのことば	「これで入所式をおわります。」

入所式終了後のオリエンテーションを行います。(20分程度)(他団体と合同で行う場合もあります。)

退所式

～ ね ら い ～

自然の家の生活を振り返り、思い出を新たにすると共に、今後の生活に生かそうとする意欲を持たせる。

☆「退所式」の意義や役割分担等、事前指導を十分に行ってください。

☆「退所式」の進め方は、各団体の目的等に応じて計画してください。

☆実施場所：体育室又は研修室

☆退所式の進行は退所団体でお願いします。

※原則として退所式は、単体で行います。但し、退所時間等が同じ団体があれば、合同で行う場合もあります。

その際は、団体同士で事前に話し合い役割分担を決めておいてください。

＜退所式（例：約15分）＞	
1 はじめのことば	「これから退所式をはじめます。」
2 児童・生徒代表感想発表	「〇〇学校の〇〇さんの代表感想発表です。よろしくお願いします。」 (終了後)「ありがとうございました。」
3 退所団体の挨拶 (校長・教頭先生等の代表者)	「〇〇先生のごあいさつです。よろしくお願いします。」 (終了後)「ありがとうございました。」
4 菊池少年自然の家挨拶	「菊池少年自然の家の職員のごあいさつです。よろしくお願いします。」 (終了後)「ありがとうございました。」
5 おわりのことば	「これで退所式をおわります。」

夕べのつどい・朝のつどい

～ ね ら い ～

1日の終わりと始まりのけじめをつけるとともに、他団体との交流を行う。

☆夕べのつどい・朝のつどいは、宿泊者全員参加です。

☆夕べのつどい実施時間 17:00～17:15

☆朝のつどい実施時間 7:00～ 7:15

☆実施場所：晴天時…集いの広場、雨天時…体育室

☆つどいの進行は少年自然の家職員が行います。

進行係を希望される団体は、事前にご相談ください。(進行例：下記参照)

<夕べのつどい(例：約15分)>

- 1 開会のことば(少年自然の家職員)
- 2 団体紹介(各団体代表)
- 3 所からの話(少年自然の家職員)
※時間がある時にはレクリエーションなどを行います。
- 4 国旗・県旗・所旗の降納(旗係)
- 5 閉会のことば(少年自然の家職員)

<朝のつどい(例：約15分)>

- 1 開会のことば(少年自然の家職員)
- 2 国旗・県旗・所旗の掲揚(旗係)
- 3 ラジオ体操(体操係)
- 4 感想発表(各団体代表)
- 5 所からの話(少年自然の家職員)
※時間がある時にはレクリエーションなどを行います。
- 6 閉会のことば(少年自然の家職員)

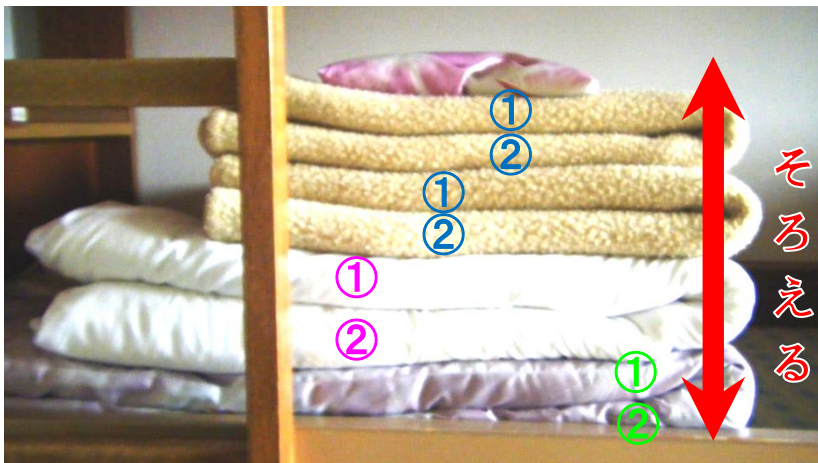
夕べのつどい 進行係のことば(例)

- 1 開会
「姿勢を正してください。こんばんは。
〇月〇日〇曜日、夕べのつどいを始めます。」
「本日の入所団体は〇〇〇と△△△です。」
- 2 団体紹介
「まずはじめに、団体紹介をお願いします。」
(→各団体)
「ありがとうございました。」
- 3 所からの話
「少年自然の家の職員の方、お願いします。」
※時間があれば、簡単なゲームで交流を図ります。
誕生者にはプレゼントがあります。
- 4 旗の降納
「国旗・県旗・所旗の降納を行います。旗係の皆さん
お願いします。」
「帽子を取り、姿勢を正して旗に注目してください。」
「ありがとうございました。旗係の皆さんに拍手を
お願いします。」
- 5 閉会
「夕食は17時30分からです。つどいが終わりましたら、団体ごとに連絡をお願いします。
その場にお待ちください。」
「それでは、姿勢を正してください。これで、
〇月〇日〇曜日、夕べのつどいを終わります。」

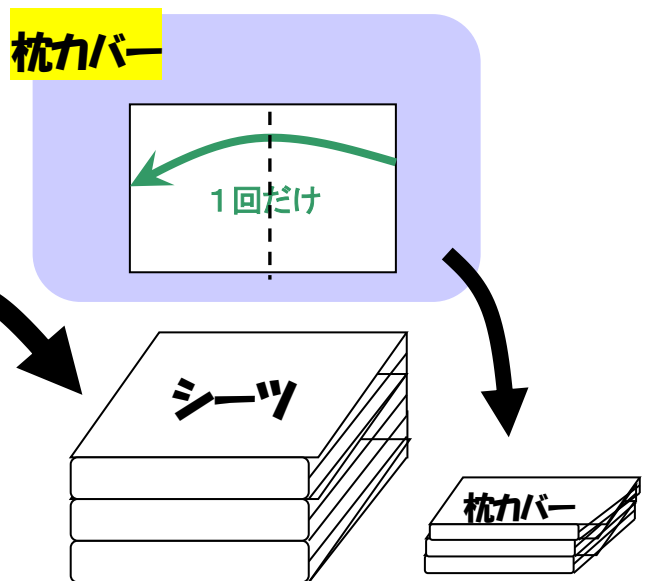
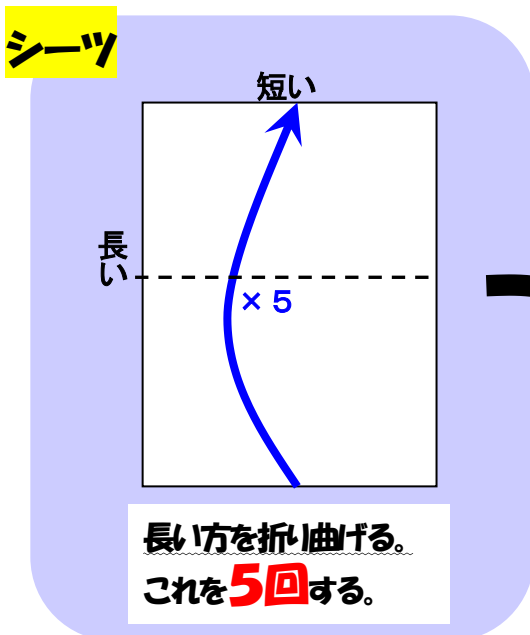
朝のつどい 進行係のことば(例)

- 1 開会
「姿勢を正してください。おはようございます。
〇月〇日〇曜日、朝のつどいを始めます。」
- 2 旗の掲揚
「はじめに国旗・県旗・所旗の掲揚を行います。
旗係の皆さん、お願いします。」
「帽子を取り、姿勢を正して旗に注目してください。」
「ありがとうございました。旗係の皆さんに拍手を
お願いします。」
- 3 体操
「体操を行いますので、体操ができるように広がって
ください。体操係は、前に出てきてください。」
「体操係にも拍手をお願いします。元の隊形に
集まってください。」
- 4 感想発表
「感想発表をお願いします。」(→各団体)
「ありがとうございました。」
- 5 所からの話
「少年自然の家の職員の方、お願いします。」
※時間があれば、簡単なゲームで交流を図ります。
誕生者にはプレゼントがあります。
- 6 閉会
「朝食は〇時〇分からです。つどいが終わりましたら、
団体ごとに連絡をお願いします。
その場にお待ちください。」
「それでは、姿勢を正してください。これで、
〇月〇日〇曜日、朝のつどいを終わります。」

寝具の使い方・整理について



しきぶとんも、かけぶとんも、毛布も、しょうめん正面から見ると、ふたえ二重に見えるね！



それぞれ数えやすいように、重ねよう！

寝具のたたみ方

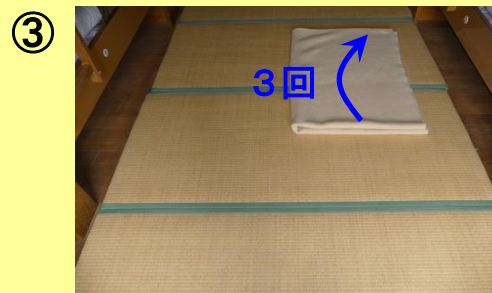
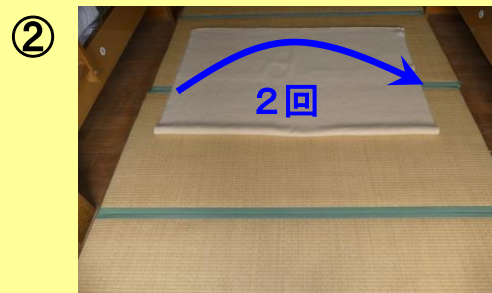
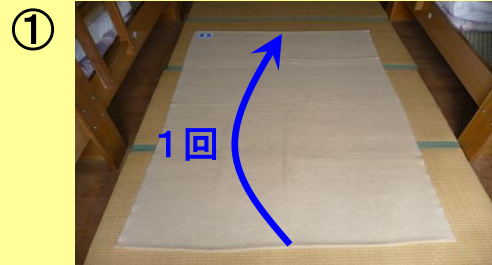
しきぶとん



かけぶとん



毛布



ポイント☆

はし
端をそろえて、シワをきれいにのぼそう!

部屋点検の流れ

①各団体の代表者（引率者）に点検してもらう。



②自然の家の職員に点検してもらう。



自然の家の職員に『合格』と言われたら…



③シーツをリネン室前のオレンジ色の袋の中に入れる。



点検項目

次の人が気持ちよく使えるように、

下の①～⑦の内容を確認しましょう！（部屋点検の内容です。）

①シーツ・枕カバーの枚数はありますか？

②寝具は見本のとおり整理されていますか？

③ハンガーは〔2本〕ずつかかっていますか？

④窓は閉めてありますか？

⑤カーテンは開けてありますか？

⑥すみずみまで掃除されていますか？

⑦忘れ物はありませんか？

キャンプ場利用について

1 利用申込みについて (利用期間 : 通年)

本館利用に準じています。

2 施設

- テントサイト : A サイト… 21 サイト、B サイト… 10 サイト
- 貸出用ドームテント (3~5人用) : 9張 炊事場 : A・B サイト各1ヶ所 管理棟
- つどいの広場 トイレ : A サイト1ヶ所 シャワー室 (温水) : 男女各シャワー4基

3 収容人数

100人程度

4 貸出用具

設営用ドームテント (常設14張、県立4施設共有12張)、飯ごう、炊事用具一式、食器、バーベキューセット ※炭は、団体で準備

5 使用料

P11「必要経費」、P19~20「活動プログラム一覧」参照

6 服装及び準備品について

- ① 活動にふさわしい服装で参加してください。
- ② 帽子・軍手・懐中電灯は、必ず準備してください。

準備物 【個人】

- 雨具 タオル 帽子 着替え 軍手 防寒着 懐中電灯 水筒
- 毛布・タオルケット (レンタル毛布 1枚378円) 洗面用具 虫よけスプレー

準備物 【団体】

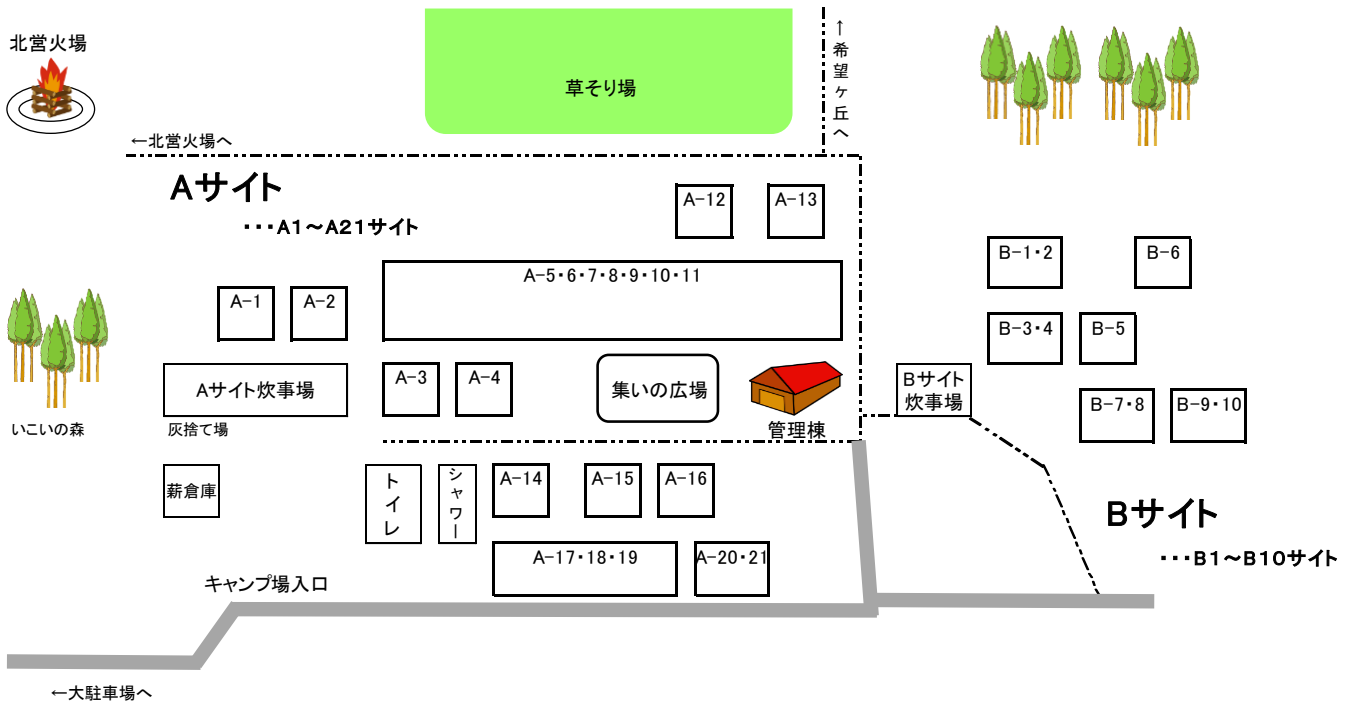
- 新聞紙 ティッシュ マッチ ごみ袋 防虫剤 炭 洗剤 箸
 - 布巾 キッチンペーパー 救急用品 その他活動に必要な用具等
- ※カレーを作る場合 カレー皿 スプーン

7 利用上の注意

- ① キャンプ場内は、車両進入禁止です。大駐車場に駐車後、歩いて入村してください。
- ② 食材等の搬入・搬出については、管理棟前まで車両進入可です。搬入・搬出後は、直ちに大駐車場に駐車してください。
- ③ テント内では・・・
 - 火気厳禁です。(喫煙・蚊取り線香等)
 - 飲食は禁止です。※虫が寄ってきます
 - 出入り口の網戸はファスナーを閉めましょう。
 - 消灯後は、静かに休みましょう。起床の時間になるまでは、テントの中で静かに待ちましょう。
- ④ シャワー室・トイレでは・・・
 - シャワーを出すときは温度に気をつけ、ヤケドに気をつけましょう。
 - シャワーはこまめに止めるようにし、節水に心がけましょう。
 - カーテンを閉め、脱衣所が濡れないようにしましょう。
 - トイレでは、備えつけの紙以外は使わないようにしてください。

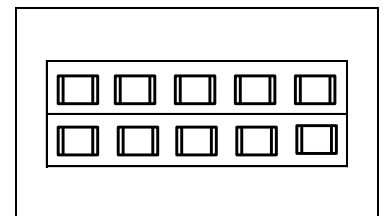
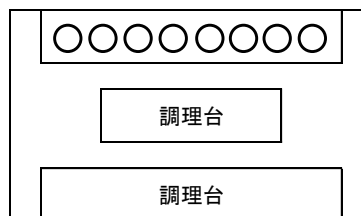
- ⑤ 各活動の後片付けは、団体で責任を持ってきちんと行ってください。(要最終チェック)
 ○調理やキャンプファイヤーの灰は、消火確認後、灰捨て場に捨ててください。
 ○ゴミはお持ち帰りください。
- ⑥ 野外炊飯については、28ページ「野外炊飯について」をご確認ください。
- ⑦ 食中毒防止のため、食材には必ず火を通すようにしてください。
 なお、食材の持ち込みはできませんので、本所食堂より注文をお願いします。
- ⑧ 外に食べ物を置かないようにしてください。
- ⑨ キャンプ場は、木の根や段差が多くあります。走り回らないようにしましょう。
- ⑩ 施設や道具、自然を大切に、「来た時よりも美しく」を心掛けましょう。
- ⑪ 林野火災の恐れがあるため、火器の取り扱いには十分注意してください。
 敷地内、キャンプ場での花火は一切禁止です。

8 キャンプ場見取り図

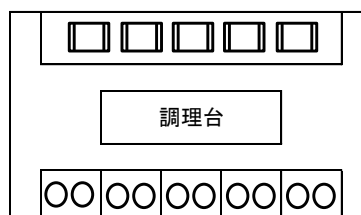


※管理棟の冷蔵庫は1台ですので、
 クーラーボックスをご持参ください。
 同日に複数団体ご利用の場合は、共用して
 いただくことがあります。

Aサイト炊事場



Bサイト炊事場



○ …水道
 □ …かまど

野外調理をされるみなさまへ（必ずお読みください。）

熊本県立菊池少年自然の家

施設内への食品、食材の持ち込みは原則禁止となっております。

1 食材調達・管理について

(1) 野外炊飯で使用する食材は、新鮮なものを使用し、冷蔵庫にて温度管理を徹底しましょう。

(2) 肉や魚はビニール袋や容器に入れ、

平成25年度から食材の持ち込みは禁止となっております。

(3) 食材の運搬に時間がかかる場合は、施設近隣で購入し、食材の鮮度を確保しましょう。

(4) カキなどの貝類を使ったバーベキューは禁止とします。



2 野外調理を始める前に

(1) 参加者の事前の**健康観察**を必ず行いましょう。

(体調不良者や同居家族に感染者等がいた場合などは、調理に参加しないようにしてください。)

(2) 参加者全体に衛生管理の意識をもっていただくよう、注意喚起をしてください。

(3) 爪の間や手首まで石鹸等で丁寧に洗いをしましょう。



3 野外調理中

(1) 調理器具を一度きれいに洗ってください。

(2) 野菜は、しっかり水洗いをしてください。

(3) まな板と包丁は、「肉用・野菜用」で使い分けをしましょう。

また、バーベキュー等で生肉を扱う場合は、生肉専用の Tongue を使用しましょう。

(4) バーベキューを行う場合は、照明器具などを利用して食材に火が通っているか確認できるようにしましょう。

(5) 肉を処理した後も手洗い・消毒を行ってから次の作業へ移るようにしましょう。

(6) おにぎりをつくる場合は、手洗い・消毒を徹底するとともにラップや使い捨て手袋を使用して作りましょう。

(9) 加熱して調理する食品は、十分に加熱してください。

※ 中心部温度 75℃で（ノロウイルス対策には 85℃以上）1分以上

(8) 調理後はすぐに食べましょう。



4 野外調理終了後

(1) 使用した調理器具をきれいに洗ってください。

(2) 体調不良者がでた場合は速やかに自然の家までお申し出ください。



アクセス access



1 菊池市内から車で約20分

菊池神社前の坂を上り（国道387号線を使って）、菊池渓谷・水の駅を目指す

2 ポイント

(1) 国道387号線から、菊池神社の手前、立町交差点を右折 ※左側に「肉の有働」「ローソン」がある交差点

(2) ここから少年自然の家まで約12km

(3) 右手にラーメン屋「いがぐり苑」が見えたら、およそ半分まで来ている

(4) 左手にコンビニ「デイリーストア」、右手に「迫水小」の交差点まで来たらその先1kmほどで左折

(5) 右手に水源駐在所あり、「元晶窯」とゴルフ場「菊池カントリークラブ」の看板があったら間もなく

(6) 左に鋭角に曲がる坂道あり、ここを曲がる

※左手に黄色の「菊池少年自然の家」の看板あり

※左手に大きな黄緑色のブドウのオブジェがある佐々木農園まで行ったら行き過ぎ

この曲がり角は「水の駅」の約1kmほど手前

(7) 狭い坂道を3kmほど登ったら、少年自然の家

※狭くて見通しの悪い山道だが、交通量が多いので注意を！

※途中、「菊池カントリークラブ」へ行くための左への道があるが、左折せずに道なりに進む

※左手に「わらび学園」があったら、あと1kmほど

〒861-1441 熊本県菊池市原4885番地5

熊本県立菊池少年自然の家

指定管理者：ひとづくりくまもとネット・三勢共同体

TEL 0968-27-0066

FAX 0968-27-0880

E-mail kikuso@hitodukuri.com

HP <http://www.k-seishonen.com/kikuchi/>

利用団体の皆様へ

飲酒についてのお願い

本所では、利用者の皆様へ、飲酒について下記のことをお願いしております。ご理解の上ご協力をお願いいたします。

記

1. 本施設では以下の理由により原則、飲酒を禁止しております。
 - (1) 本所は青少年教育施設であり、飲酒を伴う研修はご遠慮いただいております。
 - (2) 食中毒防止や虫の侵入を防ぐため、本所宿泊室内への飲食の持ち込みは禁止しております。
 - (3) 県教育長より、学校関係の宿泊を伴う行事で児童・生徒を引率する際、飲酒を行ってはいけないとの指導があります。
 - (4) 飲酒により他団体への迷惑行為につながる可能性があります。
 - (5) 車を伴う引率の場合、飲酒運転での事故につながる可能性があります。
 - (6) 翌日の活動や、児童・生徒の引率に影響が出る可能性があります。安全に活動を行うために飲酒は行わないでください。
2. 無断で飲酒が行われた場合、問題が起こっても本施設は一切責任を負いません。

熊本県立菊池少年自然の家

(指定管理者) ひとづくりくまもとネット・三勢共同体

代 表 中川 保敬

不審者対策

利用者の皆様に安心して本施設を利用していただくために、次のことにご協力ください。

- 1 入所団体の方は必ず名札をつけてください。食事中及び入浴後もお願いします。
遅れて入所されます方や活動の応援等でいらっしゃる方にも着用をお願いしています。
- 2 入所関係車両は、本施設が発行いたします駐車許可証を見えるところに提示してください。
駐車許可証のない車両は駐車されないようにお願いします。
- 3 本館前の駐車は、利用者の安全確保のためご遠慮ください。
- 4 男子棟東側、女子棟西側のドアは常に施錠してください。
リーダー棟をご利用の方は、お使いになる側のドアの鍵とリーダー棟の鍵を受け取りに来てください。
- 5 活動や食事、入浴等で部屋を離れるときは、窓の施錠を確実に行ってください。
- 6 就寝時には窓の施錠をしてください。
- 7 退所時は部屋点検後、施錠してください。
- 8 引率者及び活動協力者は必ず本館玄関から出入りしてください。
- 9 不審者らしき者を発見された場合は直ちに職員に知らせてください。
- 10 異常が発生した場合は職員の指示に従ってください。

熊本県立菊池少年自然の家

(指定管理者) ひとつづくりくまもとネット・三勢共同体

代表 中川 保敬

「食」の安全を提供するために

本所では「食」の安全を提供するために、下記のことを利用者の皆様をお願いしております。ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

記

《食物アレルギー対応について》

- 食物アレルギー確認票を利用2週間前までにご提出ください。
- 入所当日に食物アレルギーについて再度確認いたします。
- 団体での食物アレルギー担当者を事前に決めておいてください。
- 食事時間の5分前に、アレルギー対応者と引率者1名（団体での食物アレルギー担当者）は食堂前に集合してください。当日の検食者と食堂職員も交えて、アレルギー対応について説明いたします。
- アレルギー対応食（除去食または代替食）を確実にご確認ください。
- 検食者の前で対応食を受け取ってください。
- 食事の際は担当者は食物アレルギー対応者と一緒に食事をお取りください。
（おかわり等での誤食を防ぐため）
- 他の入所者の食器等に、食物アレルギー対応者が触れないようにご注意ください。
アレルゲンに触れただけでアレルギーの症状が出る場合があります。
- 万が一、食物アレルギーの症状が出た場合は直ぐに事務室にお知らせください。

《食中毒防止及びノロウイルス対策について》

- 食中毒予防にもノロウイルス対策にも一番大切なのは手洗いです。手洗いを徹底させてください。
- 食事前は必ず石鹸で手洗いをさせてください。
食事前の手洗いの時は団体の方が手洗いの様子を見てください。
- ハンカチやタオルの使い回しはさせないでください。（ひとり1枚）
- 万が一、嘔吐した場合は、次のように処理してください。
 - ・処理用として、使い捨て手袋、使い捨てマスク、新聞紙、次亜塩素酸ナトリウム、ビニール袋を常備しております。処理には必ずお使いください。
 - ・処理に使った防具はすぐにビニール袋に入れて密閉してください。
 - ・食堂の場合…食堂職員にすぐに連絡してください。
食器等は別処分します。返却口には持ってこないでください。
 - ・部屋の場合…汚れた寝具はすべてビニール袋に入れてください。
 - ・処理中、処理後の換気をしてください。
- ドアノブ、蛇口、階段の手すり、ベッドの手すり、食堂のテーブルなどには本所職員が次亜塩素酸ナトリウムで定期的に消毒しております。
- 野外から帰ってきたときやトイレに行った後には必ず手洗いを徹底してください。

熊本県立菊池少年自然の家

（指定管理者）ひとづくりくまもとネット・三勢共同体
代表 中川 保敬